

2021年8月11日

株式会社電通デジタル

電通デジタル社員、国際的 AI コンペティション 「Hungry Geese」(Kaggle)で金メダルを受賞 —Kaggle Master 称号も取得、 AI 技術で企業のデータマーケティングを支援—

株式会社電通デジタル(本社:東京都港区 代表取締役社長執行役員:川上 宗一 以下、電通デジタル)は、国際的な AI コンペティションプラットフォーム「Kaggle(カグル)」の「Hungry Geese(ハングリー・ギース)」において、電通デジタルのクリエイティブチーム「アドバンストクリエイティブセンター」に所属する AI エンジニア石川隆一、村田秀樹を含むチームが 875 チーム中 4 位となり、金メダルを獲得しました。また、石川はこのメダル獲得によって「Kaggle Master」の称号を得ました。

「Kaggle」は、世界中の AI エンジニアが企業や政府機関の課題に対して機械学習を用いて解決する国際的なコンペティションプラットフォームで、オンライン上でさまざまな課題のコンペティションが開催されています。

本コンペティション「Hungry Geese」は、AI のガチョウを 4 チームで対戦させるゲームです。1 チーム 1 匹ずつ計 4 匹のガチョウが、敵チームのガチョウにぶつからないように 1 ターン毎に上下左右のいずれかに 1 マスずつ動き、最大 200 ターンの中でより長く生存したガチョウが勝ちとなります。参加者はこのゲームをプレイする AI を開発して提出し、競技期間中、対戦チームを組み替えながら他の参加者の AI と対戦を続け、期間終了後の総合スコアで順位が確定します。

この「Hungry Geese」コンペティションにおいて、当社石川隆一、村田秀樹を含むチームは、強化学習やディープラーニングなどの技術を用い、作成した AI のガチョウ同士の対戦を何度も繰り返し学習させることで改善を続け、その高い精度によって 4 位という成績を収めました。また、本コンペティションの結果により石川は、コンペティションで金メダル 1 つおよび銀メダル 2 つを獲得すると取得できる Kaggle Master の称号を得ました。これにより、電通デジタルにおける Kaggle Master は石川と村田の 2 名となります。

電通デジタルでは、機械学習を用いた広告クリエイティブの効果予測や自動生成等、効果的な広告コミュニケーションの実現に向けて取り組んでいます。今後も AI 技術などを用いたクリエイティブの創造と新しいサービスの開発・提供を通し、広告主のデータマーケティングを支援してまいります。

以 上

<電通デジタルについて> <https://www.dentsudigital.co.jp/>

国内最大級のデジタルマーケティング会社として、データとテクノロジーを駆使した次世代マーケティングの戦略策定・実行、その基盤となる IT プラットフォームの設計・構築、クライアントの事業革新を支援する DX コンサルティングなどのサービスを提供。国内外のプラットフォーマー各社との緊密なパートナーシップのもと、高度な専門性と統合力により、クライアントの事業成長に貢献しています。

<アドバンスクリエイティブセンターについて> <https://advancedcreativecenter.com/>

データ/AI（人工知能）とクリエイティブビティの融合した「アドバンスクリエイティブ」の実現を目指し、2017年、電通デジタルに発足したクリエイティブ組織です。認知度や好意度を向上させるブランドリフト広告から、顧客獲得のためのダイレクトレスポンス広告（バナー/LP/オンライン動画/ソーシャル広告）までを統合的に設計・制作し、広告配信の成果に合わせて改善のための PDCA を行っています。広告の第一線で活躍するクリエイティブディレクター、コピーライター、アートディレクターや、ダイレクトレスポンス広告に関する知見・ノウハウを有するコンサルタントやディレクターなど、多数のスペシャリストが在籍しています。

【本リリースに関する問い合わせ先】

株式会社電通デジタル コーポレートコミュニケーション部

竜野・北川 TEL : 03-6217-6036

Email : press@dentsudigital.co.jp